都道府県魅力度ランキング上位県、下位県の違い

中３－A－04　梅田　つばさ

目　次

はじめに

序論

第１章　上位の都道府県
　第１節　歴代上位都道府県
　第２節　上位都道府県の魅力と傾向

第２章　下位の都道府県
　第１節　歴代下位都道府県
　第２節　下位都道府県の魅力と傾向
　第３節　脱・最下位　―魅力あふれる下位県をPR―

おわりに

参考文献

はじめに

皆さんは「都道府県魅力度ランキング」についてご存知だろうか。私はこのランキングの上位県と下位県にはどんな違いが見られるのかについて調べようと思った。私自身、旅行に行くのが好きで、国内旅行にもよく行く。どの都道府県も特徴があって、足を踏み入れるたびに新たな発見があって、面白い。

私が都道府県魅力度ランキングの存在を知ったのは 3 年ほど前で、大変失礼ながら地元である奈良県の順位が予想外にも高くて驚いたのを覚えている。と同時に、「あそこにはこんなものもあるのに何故この順位なのか」と感じるものも多々あった。きっと私のように自分の印象値と釣り合っていないと考える人もいると思う。この疑問は研究しがいのあるものに違いないと考え、テーマを設定した。この研究を通して、日本全国 47 都道府県の魅力を最大限に引き出し、皆さんに「行ってみたい！」と思ってもらうことが私の目的である。

序論

そもそも、都道府県魅力度ランキングとはう一体どういうものなのかについて詳しく調べてみた。調査を行っているのは、ブランド総合研究所。この企業が行なっている地域ブランド調査の一環として都道府県の魅力度が調査されている。全国約 3 万人の 20 代～70 代の消費者を男女別、各年代別、地域別にほぼ同数ずつ日本の縮図になるように回答を集める調査で、都道府県の魅力度調査は 2009 年から毎年実施している。地域ブランド調査には他にも項目が存在し、各都道府県と市区町村の観光・居住・産品購入の意欲など、110 項目（2019 年実績）にわたって徹底的に調査をしている。

この魅力度は目に見えず非常にわかりにくい項目だ。実際、どのようにして算出されているのか。インターネット調査で、提示した地域名に対して「どの程度魅力的に思うか」を質問し「とても魅力的」から「まったく魅力的でない」までの 5 段階評価で回答してもらい、そのうち「とても魅力的」または「やや魅力的」と回答した回答者割合のみを反映し、それぞれ選択肢に付与した点数を加重平均したものになっている。それぞれの選択肢に与えられている点数は「とても魅力的」が 100 点、「やや魅力的」が 50 点となっている。それをそれぞれの回答者の割合でかけてたす。すると各都道府県の魅力度値が算出される。つまり、魅力度＝100 点×「とても魅力的」回答者割合＋50 点×「やや魅力的」回答者割合という公式になる。

第１章　上位の都道府県

第１節　歴代上位都道府県

まず、歴代上位都道府県を表にまとめてみた。

年度	１位	２位	３位	４位	５位	６位	７位	８位	９位	１０位
2009	北海道	京都府	沖縄県	東京都	奈良県	神奈川県	大阪府	兵庫県	福岡県	長崎県
2010	北海道	京都府	沖縄県	東京都	奈良県	神奈川県	大阪府	兵庫県	長崎県	長野県
2011	北海道	京都府	沖縄県	東京都	奈良県	神奈川県	大阪府	長野県	兵庫県	福岡県
2012	北海道	京都府	沖縄県	東京都	奈良県	神奈川県	長野県	大阪府	長崎県	福岡県
2013	北海道	京都府	沖縄県	東京都	神奈川県	奈良県	福岡県	大阪府	長野県	兵庫県
2014	北海道	京都府	沖縄県	東京都	神奈川県	奈良県	福岡県	大阪府	長野県	長崎県
2015	北海道	京都府	東京都	沖縄県	神奈川県	長崎県	福岡県	奈良県	大阪府	長野県
2016	北海道	京都府	東京都	沖縄県	神奈川県	奈良県	大阪府	長野県	石川県	福岡県
2017	北海道	京都府	東京都	沖縄県	神奈川県	奈良県	大阪府	福岡県	長野県	石川県
2018	北海道	京都府	東京都	沖縄県	神奈川県	奈良県	大阪府	福岡県	長野県	長崎県
2019	北海道	京都府	東京都	沖縄県	神奈川県	大阪府	奈良県	福岡県	石川県	長野県
2020	北海道	京都府	沖縄県	東京都	神奈川県	大阪府	奈良県	長野県	福岡県	石川県
2021	北海道	京都府	沖縄県	東京都	大阪府	神奈川県	福岡県	長崎県	奈良県	長野県
2022	北海道	京都府	沖縄県	東京都	大阪府	神奈川県	福岡県	奈良県	長崎県	石川県
2023	北海道	京都府	沖縄県	東京都	大阪府	福岡県	神奈川県	奈良県	石川県	長崎県
2024	北海道	京都府	沖縄県	東京都	神奈川県	福岡県	大阪府	長野県	静岡県	石川県
2025	北海道	京都府	沖縄県	神奈川県	東京都	福岡県	長野県	大阪府	奈良県	兵庫県

表を見ての通り、上位の都道府県はあまり変化がないことがわかる。なんと 2009 年から 2025 年の 16 年間、北海道と京都府は順位の変動がなかった。その他で、軒並みトップ 10 にランクインしているのは、沖縄県(最高順位 3 位、最低順位 4 位)、東京都(最高順位 3 位、最低順位 5 位)、神奈川県(最高順位 4 位、最低順位 7 位)、大阪府(最高順位 5 位、最低順位 9 位)、奈良県(最高順位 5 位、最低順位 14 位)、福岡県(最高順位 6 位、最低順位 12 位)、長崎県(最高順位 6 位、最低順位 12 位)、長野県(最高順位 7 位、最低順位 13 位)、石川県(最高順位 9 位、最低順位 17 位)などが挙げられる。

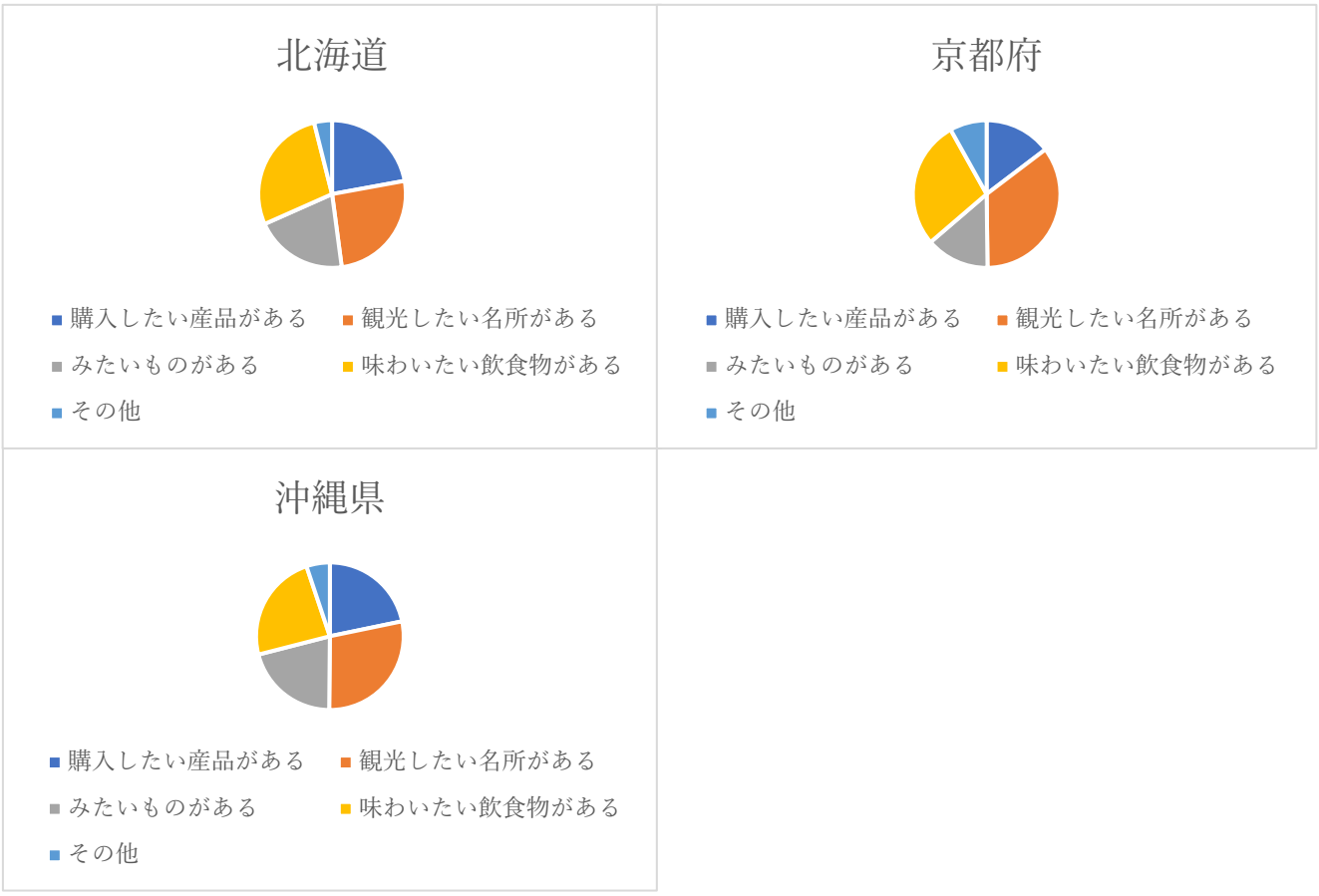
そこまで大きな順位の変化は見られないものの、奈良県民としては、何故 2024 年度の調査でトップ 10 から外れ、14 位まで順位を落としたのかが気になるところだ。この年は静岡県が初めてトップ 10 入りした。その理由としては、人気アニメ「ラブライブ！サンシャイン！！」の舞台となった沼津市の聖地巡礼の影響で人気が上がったものと思われる。また、長野県も、前年比 5 位アップしトッ

プ 10 入りしている。「健康増進・医療福祉のまち」という指標で全国一位を取った。コロナ明けであったことも相まって、観光意欲がアップしたものとみられる。そんなこんなで他県の勢いに負け、奈良県はランクダウンを余儀なくされたのか。また、もう一つ注目したいのが、石川県の台頭だ。石川県は 2016 年以降、トップ 10 入りするようになった。これは 2015 年の北陸新幹線の開通が大きく影響しているのではないかと思われる。新幹線が停まるようになって石川県がより身近な存在になったのだろう。

第２節　上位都道府県の魅力と傾向

上位の都道府県にはどんな特徴があるのか。校内でアンケートをとった。アンケートは学校が置かれている奈良県の魅力度を「3」とし、「1」から「5」の五段階で評価してもらい、その理由を「購入したい産品がある」、「観光したい名所がある」、「みたいものがある」、「味わいたい飲食物がある」、「その他」の中から選択してもらった。質問の対象にしたのは、軒並みトップ 3 にランクインしている、北海道、京都府、沖縄県の三つだ。

魅力度の数値については、奈良県が合計 3×133 票＝399 なのに対し、北海道は 632、京都府は 542、沖縄県は 630 というさすがは上位殿堂入り都道府県という結果になった。理由については以下のようになった。



北海道の魅力グラフの特徴は全体的なバランスが良いことが挙げられる。お土産、名所、景色、グルメなど多岐にわたって魅力を感じる部分がたくさんあるのだろう。特に飲食物の部門では、ラーメン、海産物、米、乳製品などたくさんの魅力が挙がった。中には、「“北海道産”のものは全部美味い」という意見まで見受けられた。その他の魅力について、多くの人が「雪」と書いていた。奈良県ではあまり積雪しないことも相まって雪への憧れや、雪まつりの美しさに魅せられた人が多くいた。他には「北海道はでっかいどう」というだけあって、その壮大な景色に魅力を感じるという意見が多くみられた。

京都府は観光名所に関する魅力が多いようだ。確かに京都府では寺院などのたくさんの建造物が世界遺産に登録されている。しかし、奈良県でアンケートをとったためか、「奈良と変わらない」、また近畿圏在住者特有の「地元」、「近いからあまり魅力を感じない」などという辛辣な意見があり、魅力度ランキングでは2位にランクインしていたが、アンケートの結果だと沖縄県より低い数値となった。その他だと、抹茶が多く挙げられていた。

沖縄県でも観光名所が強かった。確かに沖縄では本州とは異なった文化や気候なので、非日常を味わえる。そして、生き物と豊かな自然。だが、中でも一番多く見受けられたのは「海が綺麗」だった。奈良県は海なし県なので海に魅力を感じるというのももっともだが、沖縄の海は特別美しいということらしい。

これらの結果から私が考察したことは、魅力度ランキング上位都道府県に見られる傾向としては、さまざまな文化に触れられるような観光地があること、その地域の気候や自然の特徴を活かした観光業が盛んであること、そして、食に関する魅力が多くその場所でしか楽しめない味があることだ。

第2章　下位の都道府県

第1節　歴代下位都道府県

次は歴代下位都道府県を表にまとめてみた。

年度	47位	46位	45位	44位	43位	42位	41位	40位	39位	38位
2009	茨城県	佐賀県	群馬県	鳥取県	埼玉県	滋賀県	徳島県	栃木県	山口県	福島県
2010	茨城県	佐賀県	栃木県	福井県	埼玉県	徳島県	群馬県	鳥取県	岐阜県	なし※1
2011	茨城県	佐賀県	埼玉県	群馬県	徳島県	栃木県	鳥取県	福井県	山口県	滋賀県
2012	群馬県	茨城県	佐賀県	栃木県	福島県	鳥取県	徳島県	埼玉県	島根県	福井県
2013	茨城県	佐賀県	埼玉県	群馬県	徳島県	鳥取県	栃木県	福井県	山口県	和歌山県
2014	茨城県	群馬県	福井県	徳島県	佐賀県	埼玉県	栃木県	岐阜県	滋賀県	岡山県
2015	茨城県	佐賀県	群馬県	埼玉県	滋賀県	福島県	山口県	島根県	愛媛県	鳥取県
2016	茨城県	栃木県	群馬県	徳島県	鳥取県 42	岐阜県 42	福井県	埼玉県 39	福島県 39	佐賀県
2017	茨城県	徳島県	佐賀県	埼玉県	栃木県	群馬県 41	鳥取県 41	岡山県	福井県	山形県
2018	茨城県	徳島県	佐賀県 44	栃木県 44	埼玉県	群馬県	鳥取県	岐阜県	福井県	滋賀県
2019	茨城県	佐賀県	群馬県	徳島県	栃木県	埼玉県 41	鳥取県 41	滋賀県 39	岡山県 39	なし※2
2020	栃木県	徳島県	佐賀県	福井県	茨城県 42	岐阜県 42	群馬県 40	鳥取県 40	山形県 39	埼玉県
2021	茨城県	佐賀県	埼玉県	群馬県	徳島県 42	山口県 42	栃木県	鳥取県	福井県	滋賀県
2022	佐賀県	茨城県	埼玉県	群馬県	山口県	鳥取県	徳島県	栃木県	島根県	滋賀県
2023	茨城県	佐賀県	埼玉県	群馬県	山口県 42	徳島県 42	鳥取県	栃木県 39	岐阜県 39	福井県
2024	佐賀県	埼玉県	茨城県	鳥取県	山口県	徳島県	群馬県	滋賀県	栃木県	島根県
2025	埼玉県	茨城県	佐賀県	鳥取県	山口県	島根県	徳島県	群馬県 39	栃木県 39	岡山県

（県名の横に記載している数は同点で同順位だった時の順位）

（※1　36位に滋賀県、岡山県、山口県）（※2　37位に福井県、山口県）

この表を見てわかることは全体的に北関東が弱い（失礼）。中でも茨城県は12回最下位にランクインしている。栃木県も群馬県もそれぞれ一回ずつ最下位にランクインしている。その他で下位県殿堂

入りは佐賀県(最高順位 38 位、最低順位 47 位)、埼玉県(最高順位 38 位、最低順位 47 位)、徳島県(最高順位 41 位、最低順位 46 位)、福井県(最高順位 29 位、最低順位 45 位)、山口県(最高順位 31 位、最低順位 43 位)、滋賀県(最高順位 28 位、最低順位 43 位)などがある。

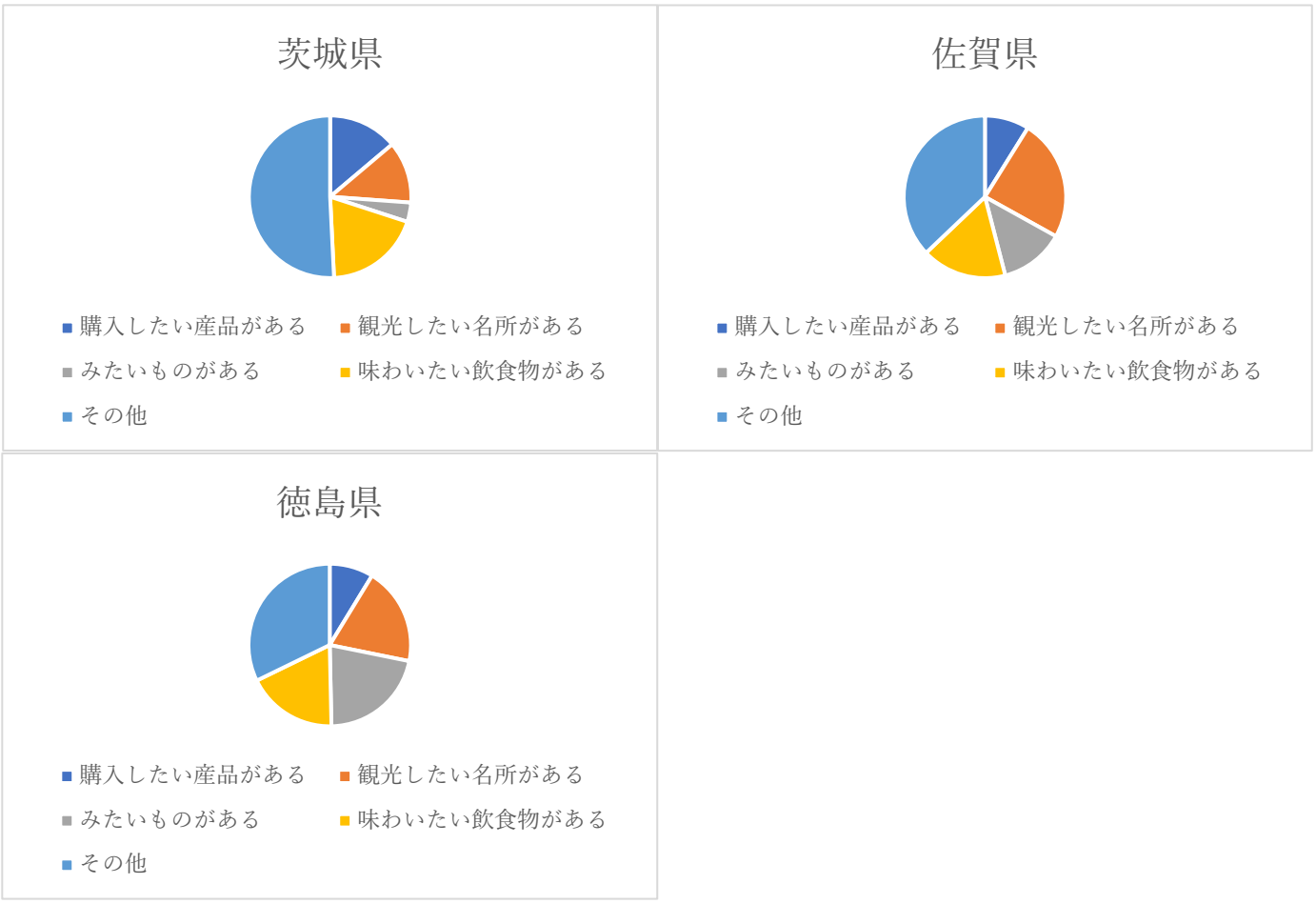
さて、北関東がここまで魅力度が低いのは何故なのか。それは、第一章でも述べられたように近場だと魅力を感じにくいということだ。この傾向は北関東以外にも、大阪府の近くである滋賀県の魅力度も低いことがわかる。日本の縮図になるようにアンケートをとることで出てきた傾向である。

第２節　下位都道府県の魅力と傾向

今回も第 1 章第 2 節と同様の質問方法でアンケートをとった。質問の対象にしたのは茨城県、佐賀県、徳島県の 3 つだ。

魅力度の数値については、奈良県が合計 3×133 票＝399 なのに対し、茨城県は 294、佐賀県は 287、徳島県は 333 という(正直微妙な)結果になった。理由については以下のようになった。

まず、見ての通り上位都道府県と比べて下位県は「その他」の割合が大きくなっていることがわか



る。この「その他」にはいったいどんな意見があったのか。それは「あまり知らないから」、「何も思いつかないから」、「何もないから」などの辛口評価の連発であった。要するに「魅力がない」という判断である。もちろん、4 項目以外の魅力を挙げていた者もいたが、「その他」のうち、茨城県では約 88%、佐賀県では約 85%、徳島県では約 71%の人が「魅力がない」と判断していた。

茨城県では(その他を除くと)飲食物に関する割合が高かった。水戸納豆や、農業が盛んなことから、いくつかの野菜が挙げられていた。

佐賀県に関する魅力は観光が強かった。吉野ヶ里遺跡など具体的な名前も挙げられていたが、「九州」と書かれていることが多かった。これは上位県でも見られた傾向で、アンケート調査を奈良県で行ったことから、遠方の九州に魅力を感じるようだ。

徳島県は「みたいものがある」項目での魅力に阿波踊り、渦潮が挙げられていたり、味わいたい飲食物に芋やすだちが挙げられていて、下位県の中では比較的バランスがいい印象だった。

それぞれの県に魅力があることはわかったものの、その魅力がうまく伝わっていなかったり、インパクトの弱いものであったりして、魅力度が低くなってしまっているということがわかった。

第３節　脱・最下位　―魅力あふれる下位県を PR―

私はなんとしてでもこの 3 県の魅力を皆さんに知っていただきたい。ということで、各県の推しポイントを 10 個紹介する。

［茨城県］

・近郊農業

アンケートでも言われていた通り、野菜の生産量が多い。ピーマン、れんこん、はくさい、メロンの生産量は日本一、レタスの生産量は 2 位。

・水戸納豆

小粒大豆の栽培が盛んだった水戸市は、昔から保存食として納豆が作られていた。明治時代の駅で販売されると人気が出て、現在では全国で知られている。

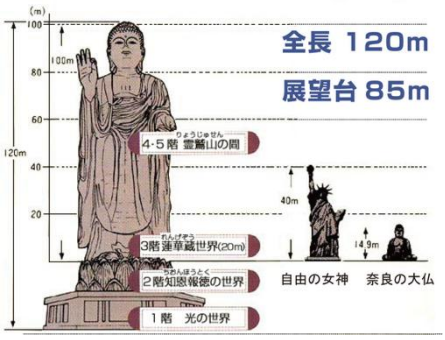
・偕楽園(右図)

「日本三名園」に数えられる、江戸時代に水戸藩主の徳川斉昭が作った庭園。園内には約 100 品種、3000 本もの梅の木がい植えられていて、開花時期はとても賑わう。



・牛久大仏

奈良の大仏が手のひらに乗ってしまうほど大きな牛久大仏。その大きさは、なんと 120 メートル。青銅製の立像では世界一の大きさ。大仏の中には展望台もある。



・筑波研究学園都市

つくば市は 1960 年代から開発が進んだ。筑波大学や多くの国の研究機関があって、宇宙開発やバイオテクノロジーなどの研究が進められている。その一画に「筑波宇宙センター」がある。最新の試験設備があり、人工衛星やロケットの開発、宇宙飛行士の養成などを行っている。

・霞ヶ浦

昔から漁業がさかんな霞ヶ浦は、日本で 2 番目に大きな湖です。古くからワカサギやシラウオ、フナ、ウナギの漁場として知られている。霞ヶ浦の魚介類は甘露煮や、佃煮などの保存食品に加工されることが多い。

・袋田の滝

久慈川の支流である滝川にかかる滝。高さ 120 メートル(牛久大仏と一緒！)、幅 73 メートルの大きさを誇る。日本三名瀑の一つ。滝の流れが大岩壁を四段に落下することから、別名「四度(よど)の滝」とも呼ばれ、その昔、西行法師がこの地を訪れた際、「四季に一度ずつ来てみなければ真の風趣は味わえない」と絶賛したことからとも伝えられている。

・国営ひたち海浜公園(右図)



花と緑に囲まれた国営ひたち海浜公園。約 215ha の広い園内は 7 つのエリアに分かれており、自然の中で楽しめるレジャースポットや花畑がある。中でも、春のネモフィラと秋のコキアは必見で、広大な“みはらしの丘”一面に広がる、約 530 万本の青いネモフィラ、そして秋には、モコモコとしたコキアが紅葉する。サイクリングコースも整備されており、広大な園内を自転車で見て回ることができる。また、林間アスレチック広場、バーベキュー広場、アトラクションが楽しめる遊園地まである。一年中さまざまなイベントが開催されているので、何度来ても楽しめる。

・ガマの油売り

ガマの油は江戸時代からキズ薬として重宝されていた。軽やかな口上が特徴のガマの油売りが、筑波山では大道芸として、人気になった。

・鹿島アントラーズ

国内最大タイトルの優勝回数はいずれもＪリーグ発足以後、Ｊクラブの中で最多。また同年度内に国内三大タイトルを全て優勝(いわゆる三冠)した初のクラブ。J1 リーグ 3 連覇を果たした唯一のクラブ。要するに強い。ぜひホームを訪れてほしい。

［佐賀県］

・吉野ヶ里遺跡

50ha にわたって残る弥生時代の大規模な環濠集落の遺跡。国内最大の遺跡とされ、竪穴住居や食料を保管する高床倉庫、墓、土器、石器、剣など多数の遺物が発掘された。竪穴式住居の中に実際に入れたり、豊富な体験プログラムがあって大人から子どもまで楽しめる。

・焼き物



佐賀県は唐津、伊万里、有田といった陶磁器の産地として有名。その歴史は古く、17 世紀に中国から伝わった絵付けの技術、韓国から伝わった窯焼きの技術を合わせて、日本独自のものとして完成されたといわれています。有田の守護神が祀られている陶山神社では、磁器製の鳥居(右図)を見ることもできる。

・呼子

イカ漁で知られる港町、呼子。生き造りが名物だが、呼子朝市でもさまざまなイカグルメが楽しめる。イカフライバーガーがいただけたり、イカプレス煎餅、イカシュウマイとイカ三昧の 1 日が過ごせる。

・唐津くんち

毎年 11 月に行われる。「くんち」は「供日」とも書き、収穫への感謝が込められている。獅子や魚、戦国武将の兜などの形をした、曳山という巨大な山車が唐津市内を練り歩きます。曳山を足場の悪い砂地へ一気に引き入れる「曳き込み」が大きな見どころ。

・有明海

長崎県、佐賀県、福岡県、熊本県に囲まれた浅い海。潮の満ち引きの差が大きく、干満差 6m 以上にもなる。ここで採れる海苔は海水の栄養分と太陽光を吸収し、栄養がたっぷり。香ばしく口溶けがいいのが特徴である。

・武雄温泉

(右図は国の重要文化財である楼門)



透明で柔らかな湯ざわりが特徴の武雄温泉は 1300 年の歴史ある温泉。

泉質はさまざまな成分が程よく入った弱アルカリ単純泉。保温性に優れ、肌になじんでしっとりすることから、昔から美人の湯と呼ばれてる。宿泊はもちろん、立ち寄り湯を楽しめるスポットも多いので、色んな湯を楽しんで美肌になろう。武雄温泉駅が 2022 年に開通した西九州新幹線の始発駅になったことから、さらに注目されそうだ。

・御船山楽園

(右図はチームラボが手がけたランプの森)



15 万坪の庭園を有する国の重要文化財である。そこにある、御船山楽園ホテルでは世界的アート集団「チームラボ」が手がけた作品が見られたり、第 11 代佐賀藩主、鍋島直大の別邸を移築した別邸内庫所に宿泊すると、専用の貸切露天風呂が無料で利用できたりする。

・虹の松原

唐津湾沿いに約 5km にわたって続く松林で、約 100 万本のクロマツが生えている。津波や潮風などを防ぐために海岸線の砂丘に植えたのが始まりといわれている。空から見ると虹のようなカーブを描いていることから虹の松原と呼ばれている。

・佐賀インターナショナルバルーンフェスタ

佐賀市嘉瀬川河川敷をメイン会場に周辺空域で開催されるアジア最大規模の熱気球の国際大会。昨年は海外から 27 機の熱気球・パイロットを含む 124 機が参加して開催。5 日間で 83 万 8000 人の来場があり、期間中に 1980（昭和 55）年からの累計来場者数が 3000 万人に達した。

・見返りの滝

名前の由来は、昔、滝へ行く際に登る坂道を登り、滝を見て帰る。でも「もう一度…」と思い、また坂道をのぼってでも見たい滝と言われ、「あの坂道を立ち帰っても見たい滝」から「見帰りの滝」と言われるようになったと言われている。日本の滝百選にも選ばれた。

［徳島県］

・うず潮

うず潮とは、激しい勢いで波が渦巻く自然現象。潮の満ち引きの差が大きい、狭い海峡で発生し、数秒から数十秒でできては消えて、消えてはまた新たなうず潮が現れる。

・祖谷のかずら橋(右図)



祖谷川にかけられたかずら橋は水面から 14m の高さにかけられた橋で、シラクチカズラを編んで作られている。幅が 2m の橋は重さが 5t にもなる。作ったのは平家の落武者、または、僧の空海ともいわれている。3 年ごとに架け替えが行われる。

・阿波踊り

毎年夏に行われ、連と呼ばれるグループごとに「踊る阿保に見る阿保　同じ阿保なら踊らにゃ損々」などの掛け声と共に徳島

市内を踊りながら進む。腰を低くしてつま先を前に出しながら踊る、男踊りと両手を上げながら踊る、女踊りがある。400 年以上の歴史を持つ。安土桃山時代から盛んになり、年を重ねるごとに豪華になった。

・阿波踊り会館

年間を通して阿波踊りが楽しめる施設。昼・夜、実際に阿波踊りが観覧可能であったり、阿波踊りの歴史が学べたり。1F「あるでよ徳島」には徳島県内のお土産がたくさん揃っているので、欲しいものが見つかるかも。

・鳴門金時

日本有数のサツマイモの山地である徳島県。特に鳴門市で作られている鳴門金時は、栗のように甘くて美味しいと人気。TBS の世界ウルルン滞在記の企画で、日本の農家からパプアニューギニアの先住民に鳴門金時が持ち込まれた。今では現地での鳴門金時の生産が定着しており、現地人は鳴門金時を「キントキ」と呼んで人気の野菜となっている

・すだち

ビタミン C やクエン酸が豊富なすだちはお酢にしたり、料理にかけたりと万能な食材。徳島県では全国で生産されるすだちの 9 割以上を栽培していて、県の花にも指定されている。

・大塚国際美術館

(右図はミケランジェロが描く聖書の世界観が圧倒的なスケールで再現された、システィナ・ホール)



陶板で世界中の名画を原寸大に再現した美術館。鑑賞ルートは約 4km もあり、地下 3 階から地上 2 階まである展示スペースでは、古代壁画から現代絵画まで約 1000 点の名画を常設展示。

・あすたむらんど徳島

子ども達が遊びや体験を通して、科学する心を育てる参加体験型、自然活用型の施設。「子ども科学館」を中核施設に、広大な公園内には「風車の丘」「プラネタリウム」「体験工房」「徳島木のおもちゃ美術館」「探検の国」「冒険の国」などが整備されている。展示物は、直接触ったり操作を可能とするなどの工夫がなされている。

・眉山ロープウェイ

「眉のごと雲居に見ゆる阿波の山……」と万葉集にも詠まれた眉山は徳島市のシンボル。山頂へはロープウェイが通じ、徳島市街はもとより、天気の良い日は淡路島、紀伊半島までもが一望できる。

・鳴門市ドイツ館

鳴門市ドイツ館は、板東俘虜収容所で過ごしたドイツ兵たちの活動の様子や、地域の人々との交流の様子を展示した史料館。ドイツ兵たちが板東でどのような生活を送っていたのか、地域の住民とどのように関わり合ったのか、なぜドイツ館が創設されたのかなどを、具体的に知ることができる。中でも、第九初演のエピソードが映像とロボットで語られる「第九シアター」は見どころ。

おわりに

　この調査を通して都道府県の魅力は伝わったでしょうか。気になったところがあれば、ぜひ訪れてみてください！

最後までご指導いただいた北野先生、アンケートに協力してくださった同級生の皆さん、家族には感謝しています。ありがとうございました。

参考文献

https://diamond.jp/articles/-/351956?page=5
https://tabetainjya.com/archives/news/ranking2024/
https://www.yasainavi.com/graph/category/
#google_vignette
https://www.town.daigo.ibaraki.jp/page/
page001474.html
https://www.ibarakiguide.jp
https://www.nikkei.com/article/
DGXZQOCC037F40T00C24A6000000/
https://www.tilki.jp/brand_research/index.html
https://news.tiiki.jp/articles/4907#g00gle_vignette
https://ibaraki-kairakuen.jp/history/
https://platinumaps.jp/d/hitachikaihin?floor=G
https://www.arita.jp/news/pickup/3869.html
https://www.takeo-kk.net/spa/
https://aumo.jp/articles/36269
https://daibutu.net/daibutu.html
https://news.yahoo.co.jp/articles/88d84965cc6f8b1bf48478652b36669c0e00e67c
https://ja.wikipedia.org/wiki/%E8%A6%8B%E5%B8%B0%E3%82%8A%E3%81%AE%E6%BB%9D
https://ja.wikipedia.org/wiki/%E9%B3%B4%E9%96%80%E9%87%91%E6%99%82
https://travel.navitime.com/ja/area/jp/guide/NTJtksm5001/
https://genic-web.com/articles/9919020
https://shikoku-tourism.com/spot/22229
https://ja.wikipedia.org/wiki/あすたむらんど徳島
https://www.city.tokushima.tokushima.jp/kankou/keikan/bizan.html
https://www.daikunosato-bussankan.jp
https://www.tokushima-airport.co.jp/tourisms/10048/
勇上香織　編集　るるぶ情報版四国 1(2021 年度分)
田中美穂　編集　るるぶ情報版九州(2024 年度分)
伊藤賀一　監修　るるぶマンガとクイズで楽しく学ぶ！47 都道府県
岡陽子　編集　るるぶ地図でよくわかる都道府県大百科
篠原靖　監修　もっと日本が好きになる！なるほど都道府県 312